

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11297

旧中筋家住宅公開事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	旧中筋家住宅公開事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二 435-1194
事業実施の根拠法令	文化財保護法		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)			全体事業概要		
	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。			国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。		
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		旧中筋家住宅の維持管理及び運営 観覧者数 1,744人	旧中筋家住宅の維持管理及び運営 観覧者数 3,761人	旧中筋家住宅の維持管理及び運営 観覧者数 11,037人	旧中筋家住宅の維持管理及び運営 観覧者数 人	旧中筋家住宅の維持管理及び運営 観覧者数 人

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	5,819	5,588	6,132	5,956	3,768	4,882	3,823	0	3,823	0
伸び率(%)	△13.9%	△13.8%	5.4%	6.6%	△38.6%	△18%	1.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,829	2,067	2,473	2,712	3,117	4,956	5,595	0	5,595
	正規職員以外	8,148	8,174	7,217	8,041	8,486	6,606	5,909	0	5,909
	小計	9,977	10,241	9,690	10,753	11,603	11,562	11,504	0	11,504
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	152	86	152	244	96	832	240	0	240	0
一般財源(税等)	5,667	5,502	5,980	5,712	3,672	4,050	3,583	0	3,583	0
所要人数(人)	正規職員	0.23	0.26	0.31	0.34	0.39	0.62	0.70	0.00	0.70
	正規職員以外	3.04	3.05	2.89	3.22	3.42	3.42	2.77	0.00	2.77
主な予算内訳	土地借上料 768千円 管理委託料 661千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開場日数		日	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	106	150	254		
			達成度(%)	117.8%	166.6%	282%	0%	%
自主事業開催数		回	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	14	14	14		
			達成度(%)	140%	140%	140%	0%	%
文化財関連施設入館者数(旧中筋家住宅)		人	目標値	2200	1800	1800	2400	2400
			実績値	1744	3512	11037		
			達成度(%)	79.3%	195.1%	613.2%	0%	%
			目標値					
成果指標			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成22年度の公開以来、多種多様な自主事業を行うことによって、観覧者の定着化をはかる努力を行っている。平成29年度後半期からは、バスツアーのコースにも入り、他府県からの観光客が増加し、昨年度の2倍以上の入場者数となっている。
見直し・改善内容	より広範囲な広報活動（ホームページ、インターネットの活用を含めて）により、周知を図り、一過性でない観覧者数の増加を目指す。また学校関係や地元自治会等との連携を強め、様々な利用方法を探る。